

あの日あの時



面河村庁舎・住民センター（昭和52年）
昭和51年9月から約1年をかけて52年9月30日に落成した



議場



旧面河村役場落成式（昭和9年）
この年、柚川村から面河村に改称。新たな村の歴史が始まった

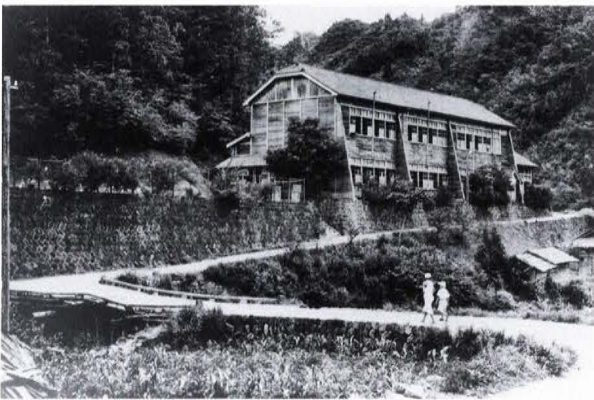


面河小学校

平成12年、洪草小と面河第一小が統合。昭和40年代の面河村には、笠方小(43年閉校)、若山小(45年閉校)、石墨小(56年閉校)、洪草小、面河第一小の5校があったが、現在では面河小1校のみになっている



面河第二小学校(昭和38年ころ)
昭和29年、面河小、城山小が統合



笠方小学校(昭和30年ころ)

面河ダム建設後、昭和43年閉校となり、洪草小学校に統合される



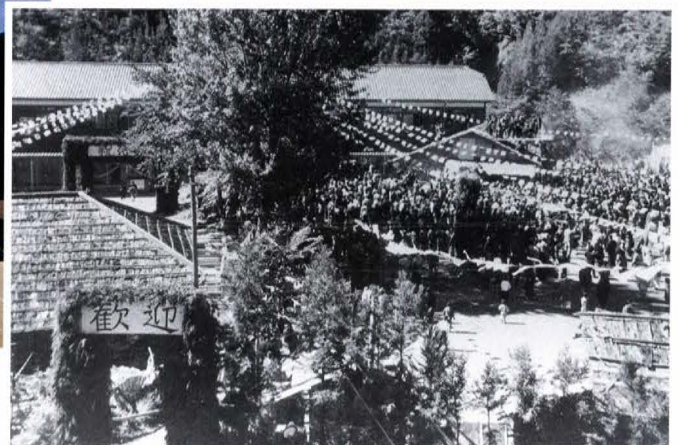
旧洪草小学校



面河中学校

中学校の歴史は昭和22年から。学制改革により、洪草地区に新制中学が創立された

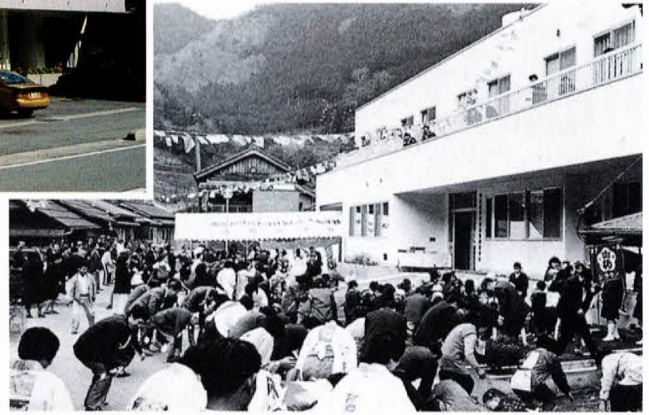
面河中学校開校の日(昭和22年)



暮らし



面河村国民健康保険診療所
 地域医療の中核として昭和56年に新築。診療、各種予防接種、献血、健康相談など健康な村づくりを支えている



診療所新築落成式(昭和56年)



おもご高齢者生活支援ハウス
 在宅介護支援施設として平成16年3月18日に落成



住民センター
 住民センターと各地区公民館などを拠点に、健康診断や相談などを実施している

村民体育館
 スポーツ、文化行事など村民のコミュニケーションづくりに欠かせない



笠方集落



相の峰集落



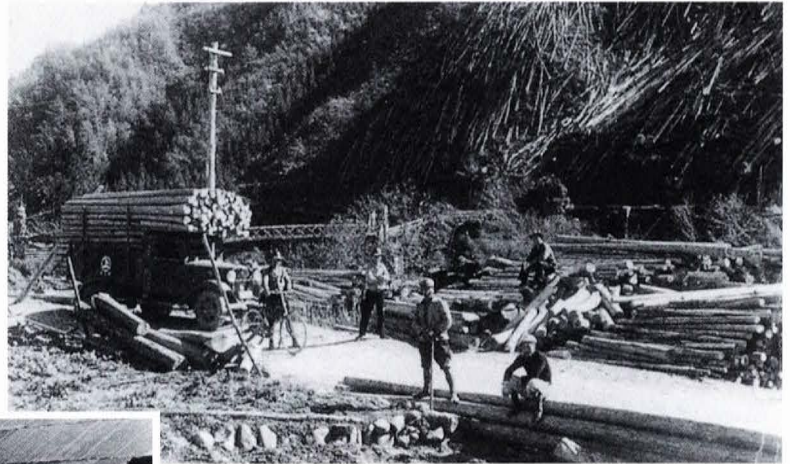
前組集落

面河10集落

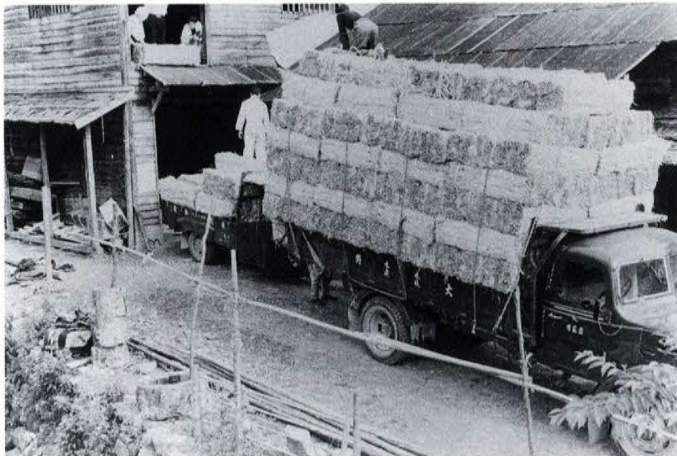


村の産業の柱・林業

森林所有者が共同で生産性の高い林業を推進



木材の搬出作業



ミツマタ出荷風景 (昭和35年ころ)

かつてミツマタの生産は村の主要産業だったが、昭和40年代をピークに衰退する



お茶畑

面河のお茶は、江戸時代から生産される伝統の特産品



里の秋



面河特産品開発センター

「おもごふるさとの駅」は自然味豊かな特産品が人気



本組集落



大成集落



渋草集落

伝統



秋祭り
上浮穴地方の秋祭りでは、面河村が最も遅い。各地区で大人神輿や獅子舞などが行われる



若山地区の盆踊り・稚児行列



鬼の金剛
村の伝統の厄よけ行事は、大きな草履作りから始まる



石鎚天狗太鼓
平成元年、有志の青年たちによって創出され、お山開きなどに参加している



お山開き
霊峰石鎚山のお山開きの日には、毎年多くの人々が村を訪れる



相の木集落



中組集落



若山集落



河の子集落

自然



くしろ
笹倉湿原



春の石鎚山



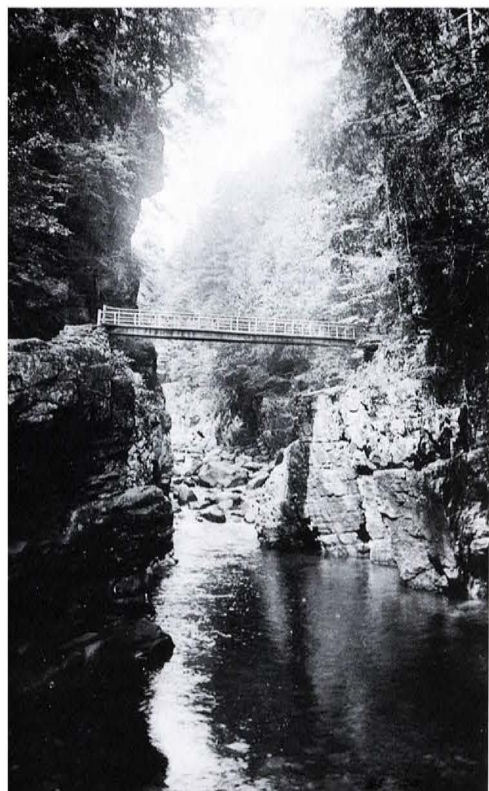
面河ダム湖



モミジ石



五色河原



五色河原(昭和6年ころ)



紅葉河原(昭和6年ころ)



紅葉河原

空船橋(昭和6年ころ)